

詩篇119篇の構造と解釈の枠組み

ホワイトボードメモ

2025年10月7日

Ps 119 の分析の流れ

2025.10.7

- ・ アルファベット詩篇で、「律法」×8は明らかで「ほめが」...
- ・ マーカス・ノダー: 8節ずつの連が、とつたの連といふのが「P」
 - ・ 各連が4節ずつつたつに分けられる
- ・ 13と14は半分ずつ。
 - 13aはじみだ 15aはじみ、おひりだ 16aおひり
 - 14aはじみだ 17aはじみ、おひりだ 18aおひり } 24
- ・ 枠組とある種文 16) テキスト性 intertextuality 先行テキストと相互関連により
- ・ 骨格
 - ・ U型型 前テキスト (intertext): 先行する別のテキスト 意味が構成される
 - ・ 原型 元の種とある文と対話と、象徴のほじみ、構造的典拠
 - ・ モデル
 - ・ アダプター
- ・ 申命記 10:12 神が求めたこと
- ・ アブラハム 18:19 アブラハムを選んだ理由 都より(守)
- ・ 申命記 5: 十戒のオラ形とオラ形「愛」 119はオラ形の中 1340
- ・ 初穂の日(大衆)と七通祭(小衆) - 17:23: 9-22 のシイ
- ・ 枠組とあるストーリー: アダム、ノア、モーセ、ダビデ - ことばの分布
 - ・ エデンの園、アブラハム、シイ山、シオン山 - 契約を結ばれた山、
契約の箱と幕屋 命令と祝福
〜するところ〜
- ・ ... 3) ハネの手紙 (ペンテコステの祝祭)

詩篇119篇は、アルファベット詩篇の形式を取り、「律法」に関する言葉が8回も繰り返されるなど、その特徴は明確です。しかし、その長大さゆえに内容の全体構成を捉えることは容易ではありません。本稿では、その構造と解釈の枠組みについて、マーカス・ノダー氏の分析を基に、さらに掘り下げた考察を提示します。

詩篇の構造分析

マーカス・ノダー氏の分析

ノダー氏は、詩篇119篇の基本構造を次のように分析しています。

- ・ 全体は8節ずつで一つの連（スタンザ）を構成している。
- ・ 各連は隣り合う連とペアになっている。
- ・ さらに、各連は4節ずつの二つの単位に分けられる。

追加の分析

ノダー氏の分析に加え、さらに詳細な並行関係が見られます。特に13連と14連は特殊な構造を持ちます。

- ・ 13連は前半（13a）と後半（13b）に、14連も同様に前半（14a）と後半（14b）に分けられます。
- ・ 13連の前半（13a）は15連と、後半（13b）は16連とそれぞれ並行しています。具体的には、13連の始まりは15連の始まりと、13連の終わりは16連の終わりに対応します。
- ・ 同様に、14連の前半（14a）は17連と、後半（14b）は18連と並行関係にあります。これにより、全体は実質的に24連の構成として捉えることができます。

解釈の枠組み：「種文」という視点

詩篇119篇を読み解く上で、「種文（たねぶん）」という概念が有効です。これは、詩篇全体の骨格をなす「ひな型」や「原型」となる聖書の他の箇所のこと、この種文が詩篇119篇全体という「結実文」として実を結んだと考えるアプローチです。

この「種文」というアプローチは、あるテキストが先行するテキストとの相互関連によって意味を豊かに形成するという「間テキスト性（Intertextuality）」の概念を応用したものです。つまり、元となる種文や言葉が、詩篇119篇の構造的な典拠となっているのです。

具体的な「種文」の例

詩篇119篇の背景には、以下のような聖書の記述が「種文」として存在すると考えられます。

- ・ 申命記 10:18 「神が求めておられること」
- ・ 創世記 18:19 「アブラハムを選んだ理由」
- ・ 申命記 5章 十戒における第一戒（神への愛）と第二戒（隣人への愛）
- ・ レビ記 23:9-22 初穂の祭り（大麦の収穫）と七週祭（小麦の収穫）

詩篇全体における119篇の位置づけ

詩篇119篇は、詩篇第5巻の中に置かれていることにも意味があります。

- ・ シナイ山で律法が授与された出来事を記念する七週祭（ペンテコステ）の役割と関連しています。
- ・ 隣に配置された「都上りの歌」（詩篇120-134篇）と響き合っています。「命令を守る」ことを主題とする119篇と、「神に守られる」ことを歌う都上りの歌が対比的な関係を成しています。

背景となる聖書全体のストーリー

詩篇119篇の背後には、聖書全体を貫く壮大な物語の枠組みが存在します。

- ・ 登場人物：アダム、ノア、モーセ、ダビデへと続く契約の歴史。
- ・ 場所：エデンの園、アララト山、シナイ山、シオン山といった、神が契約を与え、「命令と祝福」を示した聖なる山々。
- ・ 契約の内容：アダムとノアには「生めよ、増えよ」という祝福が、モーセとダビデには「契約の箱と幕屋」という神の臨在のしるしが与えられました。

新約聖書との関連

この詩篇は、新約聖書のヨハネの手紙とも深く響き合います。律法（神の言葉）への愛を歌う詩篇119篇の精神は、聖霊降臨によって律法が心に記されるというペンテコステの成就を表すヨハネの手紙のメッセージへと繋がっていくのです。